

テラス用前面パネル

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

<施工の前に>

■正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■設置場所の確認

- 施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- 施工場所の気象条件（風、雪など）に合った商品かどうか確認してください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。

■梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

■組立て、施工途中では

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締め付け固定してください。
- 施工説明書の順序どおりに組付けてください。製品の強度など、性能を低下させる場合があります。
- アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 表面にキズをつけた場合、腐食の原因となりますので補修塗料で補修してください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

■基礎工事について

- 基礎部の埋め込み深さは製品ごとに決めてありますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂は使用を避けてください。腐食の原因となります。やむをえず使用する場合は、十分水洗いしたものを使用してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤は使用しないでください。使用しますとアルミが腐食する原因となります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因となります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは速やかに拭き取ってください。

■製品の改造は絶対にしないでください。

■組立完成後はボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

■施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

■ 梱包明細書

① 前面パネル(標準セット)

名 称		員 数				
		1.0間用	1.5間用	2.0間用	1.5間連棟用	2.0間連棟用
雨樋カバー		1	1	1	1	1
上下棧		2	2	2	—	—
連棟用上棧		—	—	—	1	1
連棟用下棧		—	—	—	1	1
方立		1	2	3	3	4
端部方立		2	2	2	—	—
方立用グレチャン		4	6	8	6	8
端部キャップ(左・右)		各1	各1	各1	各1	各1
コーナーキャップ(左・右)		各2	各2	各2	—	—
パネル固定金具(左・右)		各4	各4	各4	各2	各4
コーナーキャップ取付ネジ	φ 4×13ピラスネジ	4	4	4	—	—
端部キャップ取付ネジ		2	2	2	2	2
雨樋カバー取付ネジ		3	4	5	3	4
パネル固定金具取付ネジ		4	4	4	2	4
方立取付ネジ	φ 4×12トラス2種	6	8	10	6	8
上下棧固定ボルト	M8×12六角ボルト	8	8	8	4	8
上下棧固定ボルト取付平座金 M8用		8	8	8	4	8
上下棧固定ボルト取付バネ座金 M8用		8	8	8	4	8
上下棧固定ボルト用袋ナット M8用		8	8	8	4	8
取付説明書		1	1	1	—	—

② 前面パネル(2段用)

名 称		員 数				
		1.0間用	1.5間用	2.0間用	1.5間連棟用	2.0間連棟用
中棧		1	1	1	—	—
連棟用中棧		—	—	—	1	1
方立		1	2	3	3	4
端部方立		2	2	2	—	—
方立用グレチャン		4	6	8	6	8
パネル固定金具(左・右)		各2	各5	各5	各4	各2
中棧キャップ		2	2	2	—	—
方立取付ネジ φ 4×12トラス2種		6	8	10	6	8
パネル固定金具取付ネジ	φ 4×13ピラスネジ	4	10	10	8	4
中棧キャップ取付ネジ		2	2	2	—	—
中棧固定ボルト	M8×12六角ボルト	4	10	10	8	4
中棧固定用平座金 M8用		4	10	10	8	4
中棧固定用バネ座金 M8用		4	10	10	8	4
中棧固定ボルト用袋ナット M8用		4	10	10	8	4

③ アクリルパネルセット(ポリカパネルセット) 885×935 t=2.0

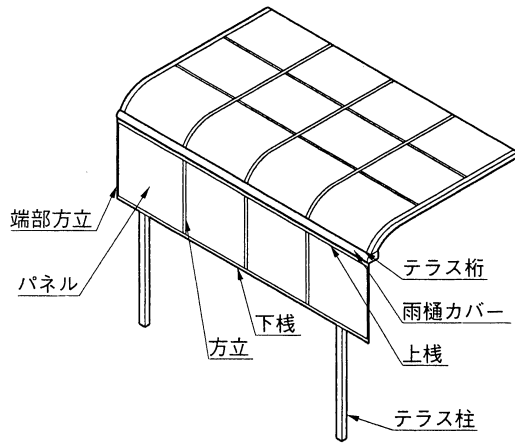
名 称	員 数	
	2枚入	3枚入
アクリルパネル(ポリカパネル)	2	3

④ 柱セット

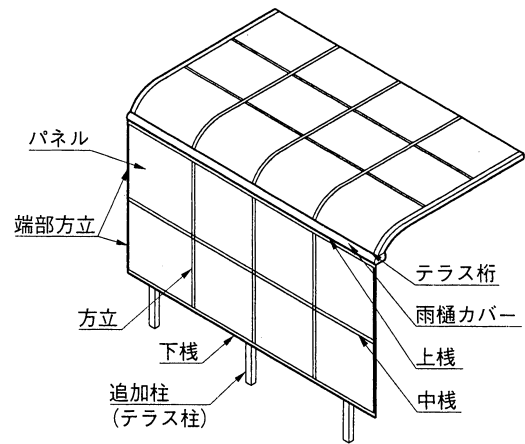
名 称	員 数	
	1本入	2本入
柱	1	2
丸樋(柱にテープ止め)	1	1
部 品 箱 内 容	柱・桁ジョイント材	2
	柱・桁組付裏板	2
	柱・桁ジョイント材組付六角ボルト M8×16セムス(バネ、平座金)	4
	柱組付ネジ M5×12トラス	8
	アンカー棒	2

注) 柱は前面パネル1段積仕様の場合、3連棟以上で、中間桁に2.0間の桁を使用する場合、中間桁に使用します。2段積仕様の場合、1.0間以外に使用します。(P 3、4参照)
なお、この場合縦樋は使用しません。

1. 姿図および各部名称



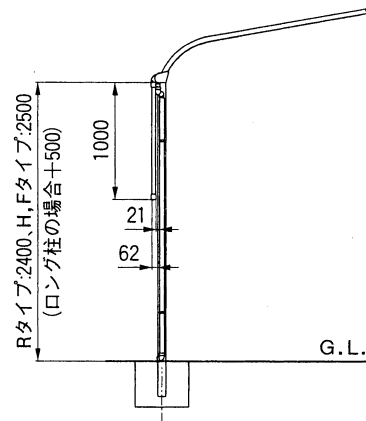
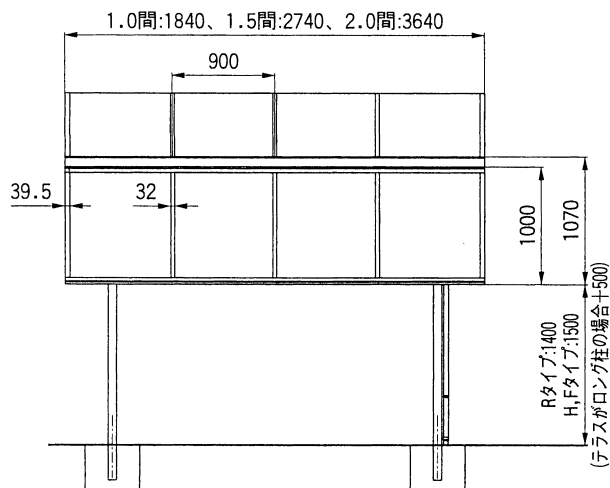
前面パネル(1段積仕様)



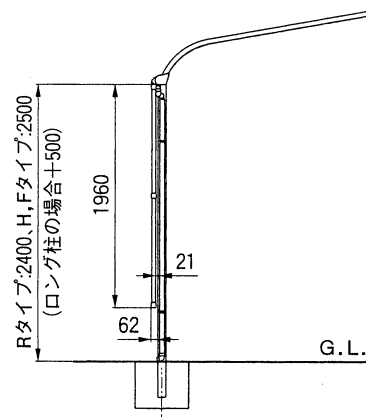
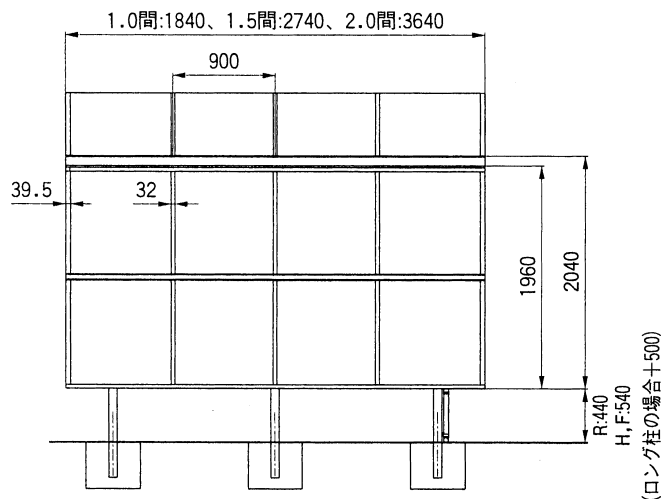
前面パネル(2段積仕様)

2. 基本寸法図

2-1 1段積の場合



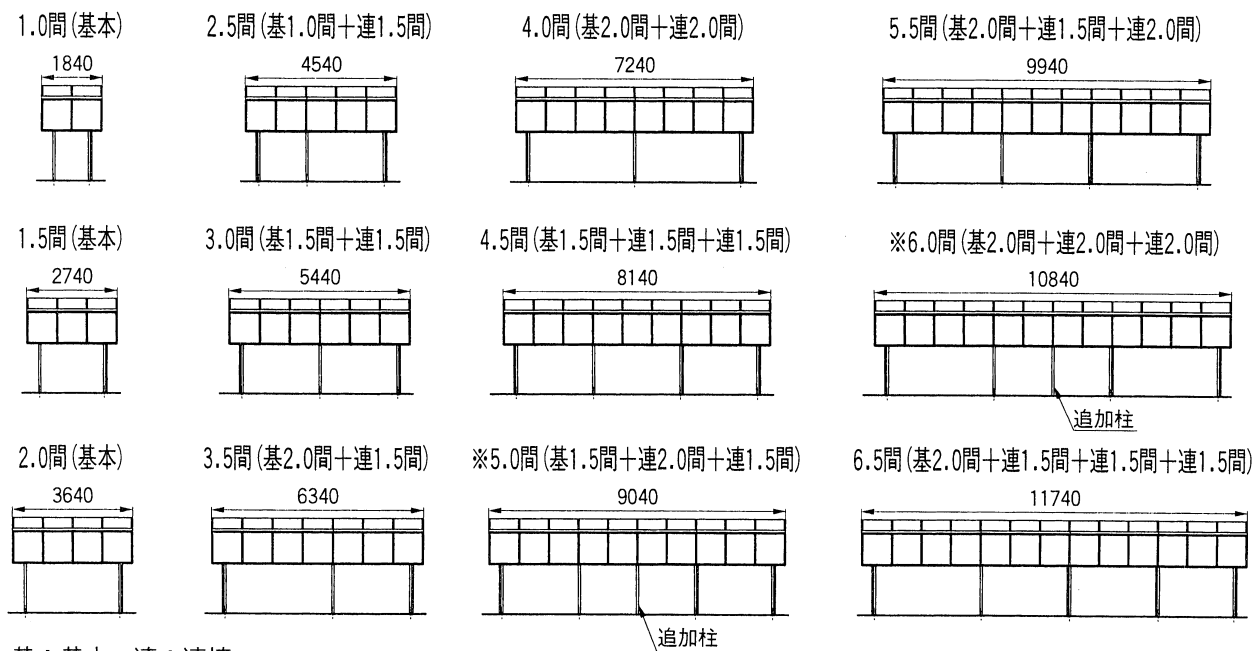
2-2 2段積の場合



注) 1.0間の場合は柱は2本になります。

2.つづき

2-3 1 段積施工



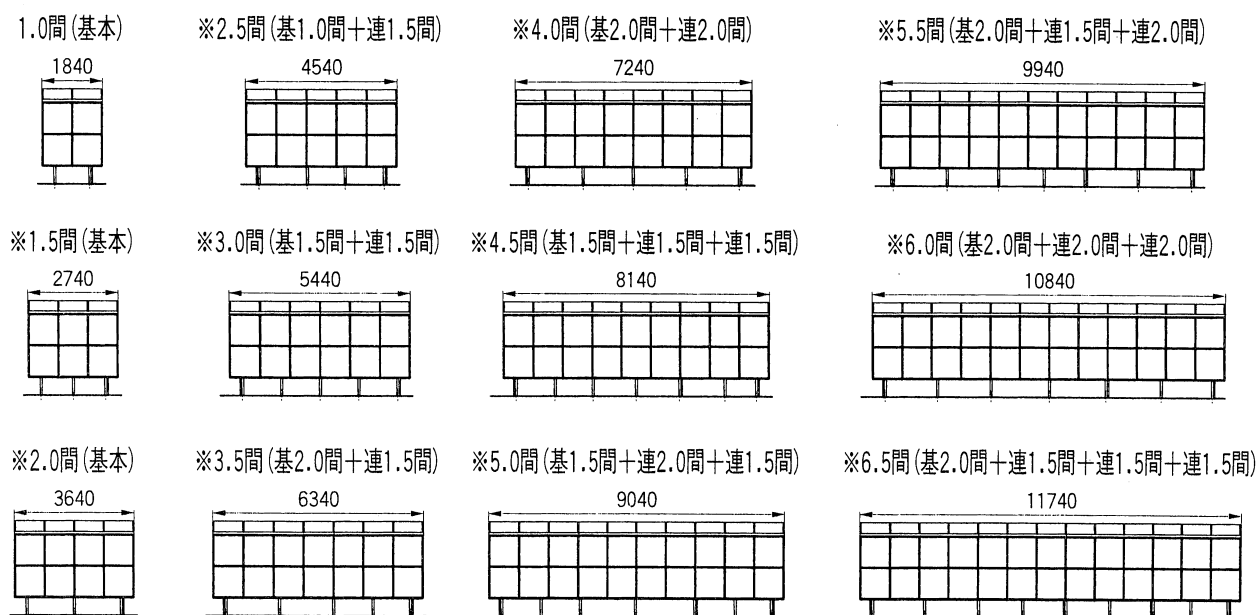
● 基：基本 連：連棟

<注 意>

※ 3連棟以上の施工現場で、中間枠に2.0間の連棟桁(本図の5.0間、6.0間の場合)がくる場合は、必ず連棟桁の中間部に追加柱(通常のテラスの柱)を、施工してください。この場合、追加柱のタテ樋は施工する必要はありません。



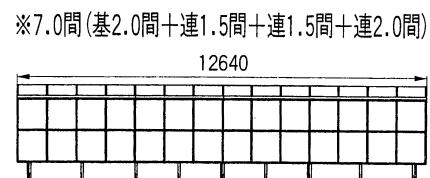
2-4 2 段積施工



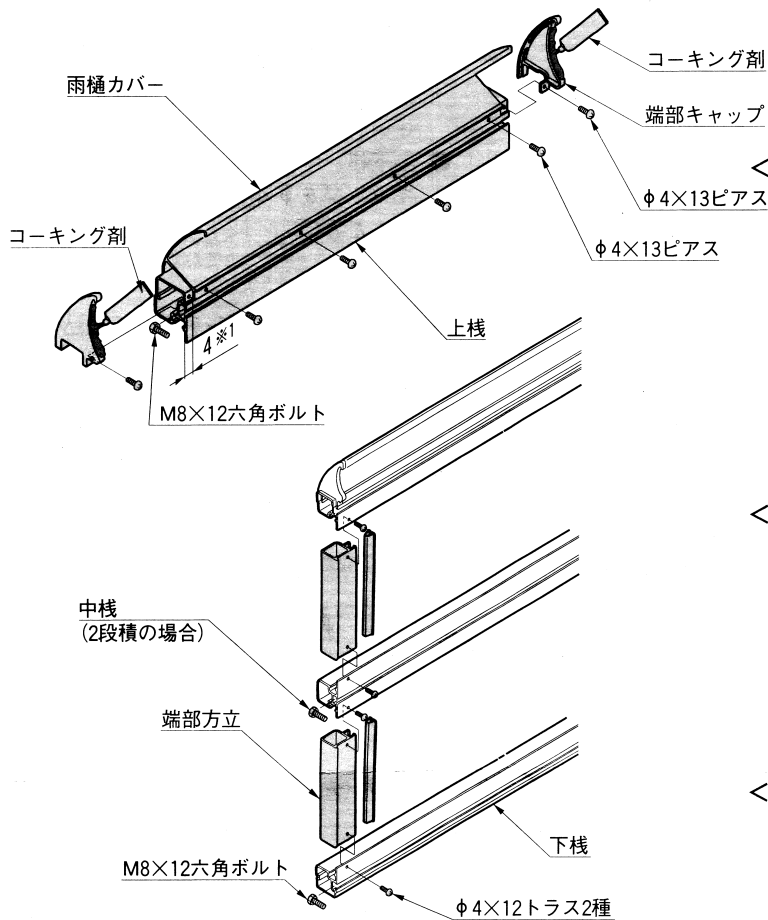
● 基：基本 連：連棟

<注 意>

※ 前面パネルを2段積する場合は、基本・連棟にかかわらず1.5間以上の桁の中間部には、追加柱(通常のテラスの柱)を施工してください。この場合、追加柱のタテ樋は施工する必要はありません。



3. 外枠の組付け



- ① 上棧に雨樋カバーを組付け、φ4×13ピースネジで固定してください。

<注意>

- 雨樋カバーは上棧より必ず4mm内側に入っていることを確認して組付けてください。(※1)

- ② 端部キャップをφ4×13ピースネジで固定してください。
取付時にキャップの内側にコーキングを施してください。

<注意>

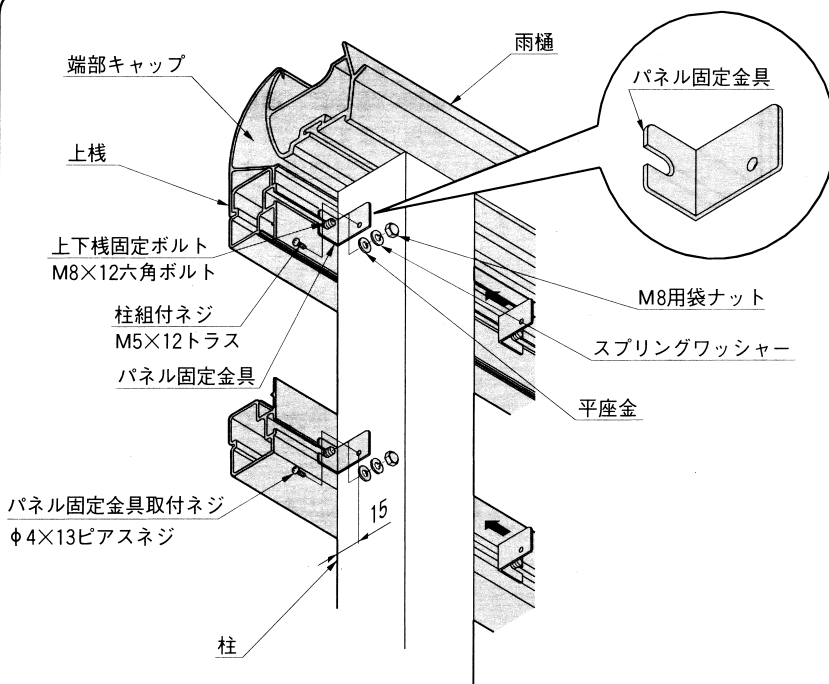
- コーキングを行なわないと雨もれの原因となります。

- ③ 端部方立にグレチャンを挿入し、方立取付ネジ(φ4×12トラス2種)で、固定してください。

<注意>

- 両端部方立の内、片側はパネルを入れる際外しますので、仮固定としてください。

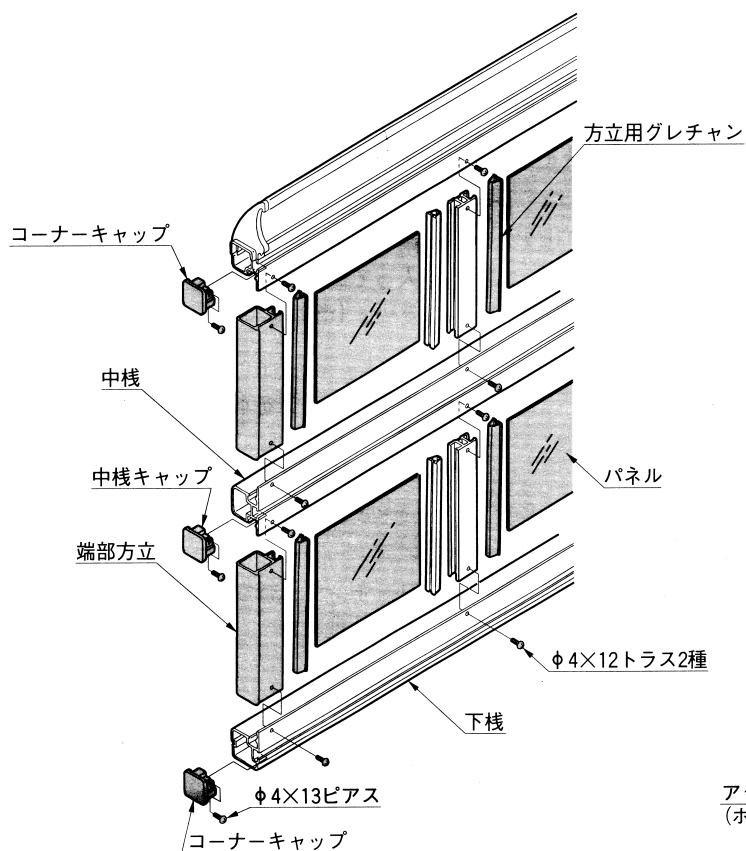
4. 外枠のテラスへの組付け



- ① 上下棧、中棧(2段階柱の場合)に柱の本数×2だけ、上下棧固定ボルト、中棧固定ボルト(M8×12)を入れてください。

- ② 上棧の取付金具を柱一桁ジョイント材のネジを利用して固定し、下棧はピースネジで固定してください。

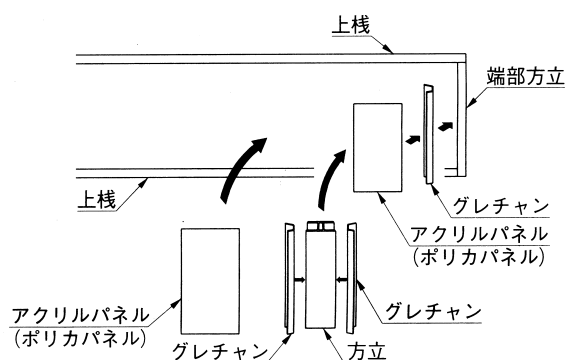
5. パネルの組付け



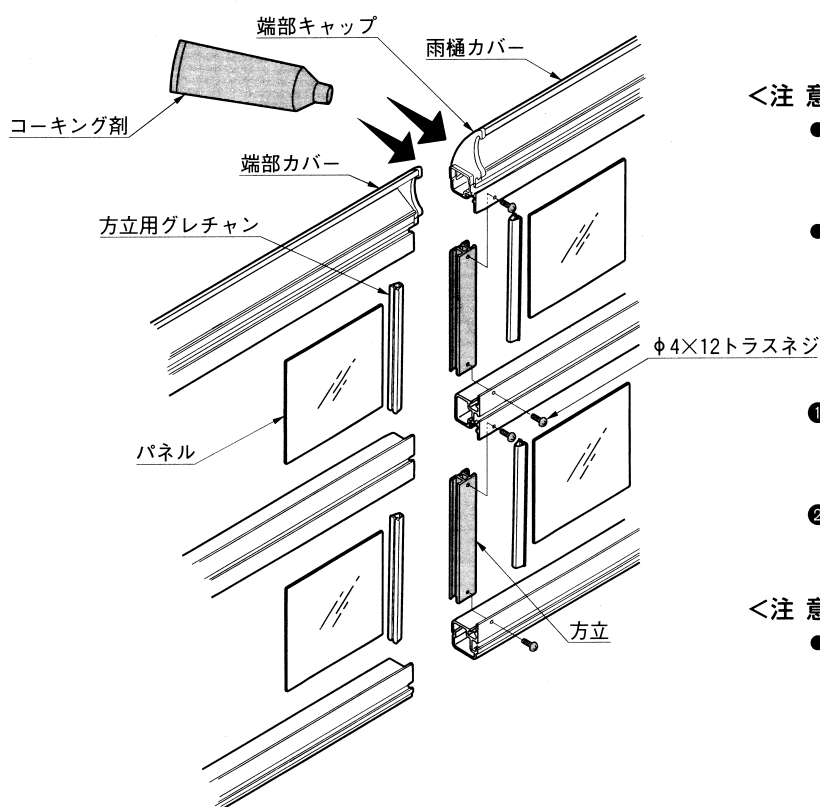
- ① 方立にグレチャンを取付け、外枠の端からパネルを挿入してください。
- ② 最後のパネルは端部方立を一度外し、パネルを挿入後、端部方立を取付けてください。
- ③ 上下棧、中棧にコーナーキャップ、中棧キャップをφ4×13ピースネジで取付けてください。

<注 意>

- パネルは必ず、グレチャンに差込むように挿入してください。
- 端から順次、パネルを挿入してください。



6. 連棟部の組付け



<注 意>

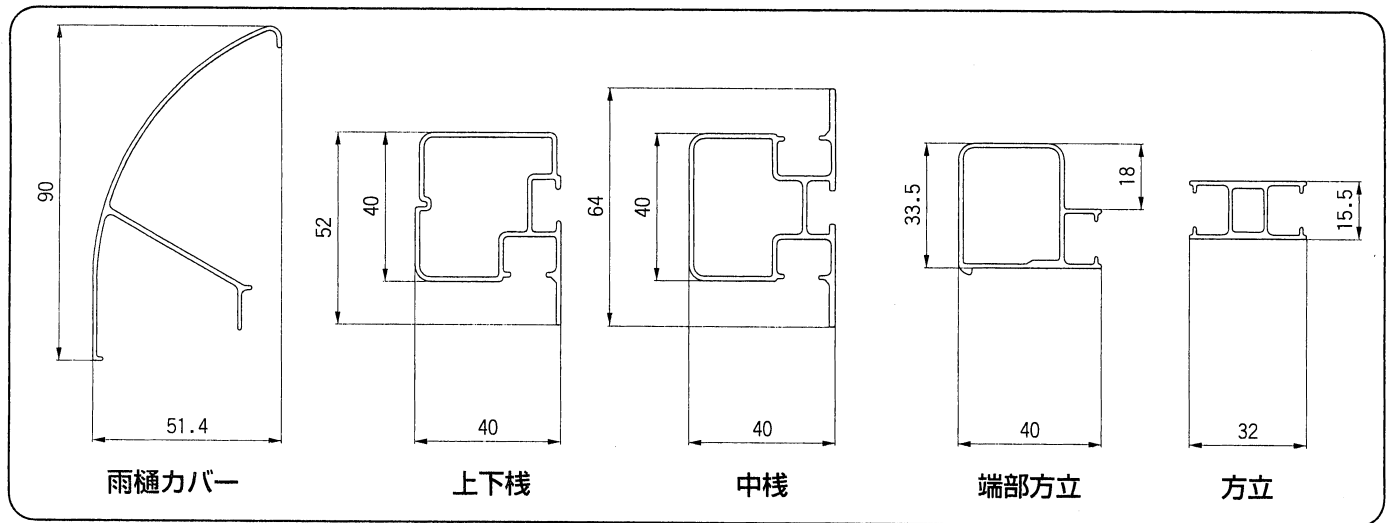
- 連棟の場合は、テラスの連棟と同様、必ず基本形の右側に施工してください。(P 4 参照)
- 連棟の場合は、連棟部に端部キャップを使用しますが、コーナーキャップ、中棧キャップは使用しません。

- ① 連棟部には、端部方立に変えて通常の方立を取付けてください。
- ② 連棟の前面パネルを柱に組付け、基本同様パネルを挿入してください。

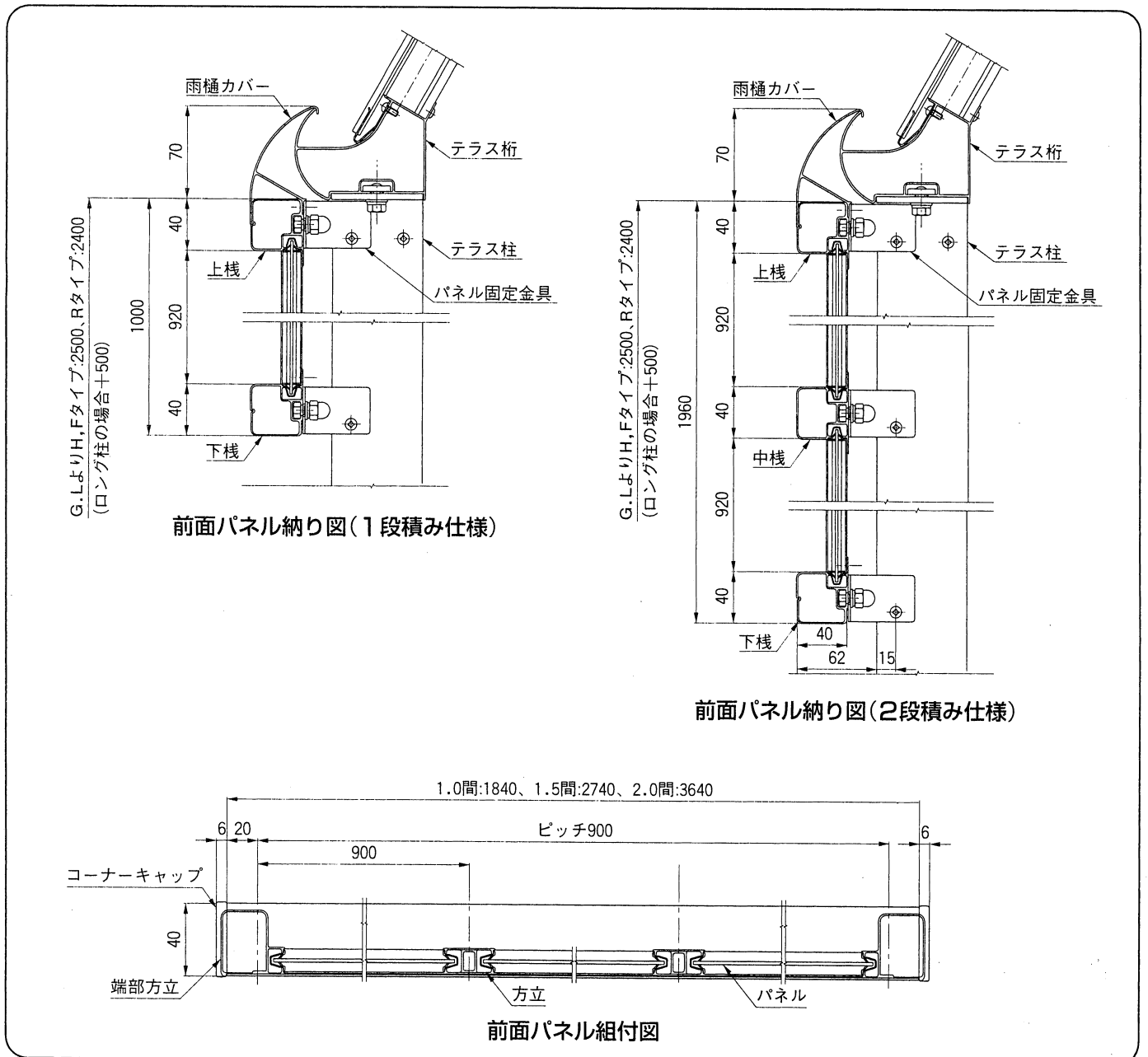
<注 意>

- 連棟部には必ず柱がきます。方立が取付けづらい場合は、パネルをずらして施工してください。

部材断面図



納り図





工事店様へ

- 豪雪地帯での施工は避けてください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し願います。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 積雪が20cmを越えないうちに必ず雪おろしをしてください。
- 絶対に屋根の上に乗らないでください。

取説コード

E060

97-05A
98-10B